

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	02	03	0404	保育所保育環境充実事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-1	子育て環境の充実			
	施策	3	就学前教育の充実			
目的	公立保育園の保育施設の環境整備					
対象	公立保育園施設、公立保育園保育士					
意図	施設の補修や、備品等の更新により、保育環境が改善する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
[平成26年度事業実施内容]						
○環境維持事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・太田保育園床改修工事 ・湯本保育園駐車場舗装工事 ・宮野目保育園フェンス設置工事 ・日居城野保育園トイレ改修工事 ・遊具点検結果C判定遊具修繕（3年間で順次修繕） ・C判定遊具対応新設設置業務委託 ・自動火災点検報知設備設置業務委託 						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	維持修繕保育園数	園	計画	15	15	15
			実績	15	15	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公立保育園施設の維持管理事業である。
妥当性	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・市内15ヶ所の公立保育園について、今後も長期的視野に立ち、継続的なメンテナンスを行うことができ、安全・安心な保育環境をより良くすることが可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	老朽化した保育施設も、適切なタイミングでメンテナンスを継続的に行うことにより、より効果的に、その施設が持つ能力を、長く長期的に発揮することが可能となることから、結果的に事業費の削減と成りえる。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	・公立保育園は、広く入園児を募集していることから、受益機会は平等である。公立保育園施設整備や支援が必要となる園児の支援指導人員の配置についての公費負担は、施設管理者として当然の義務である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
公立保育園の安全な保育を確保するため、園舎改修工事を実施したことにより、保育環境が改善され、施設の長期維持が計られた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	02	03	0404	保育所保育環境充実事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		13,114	14,481		1,367
財源内訳	国・県		8,996		8,996
	地方債				
	その他				
	一般財源	13,114	5,485		△ 7,629

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標

子どもたちの健やかな成長を育む就学前教育の充実と家庭の教育力の向上

事業開始の背景・経緯

公立保育園施設の安心、安全な保育環境を保つため、定期的な保育施設の維持管理を開始した。

事業概要

[平成26年度事業実施内容]

- 環境維持事業
 - ・太田保育園床改修工事
 - ・湯本保育園駐車場舗装工事
 - ・宮野目保育園フェンス設置工事
 - ・日居城野保育園トイレ改修工事
 - ・遊具点検結果C判定遊具修繕（3年間で順次修繕）
 - ・C判定遊具対応新設置業務委託
 - ・自動火災点検報知設備設置業務委託

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

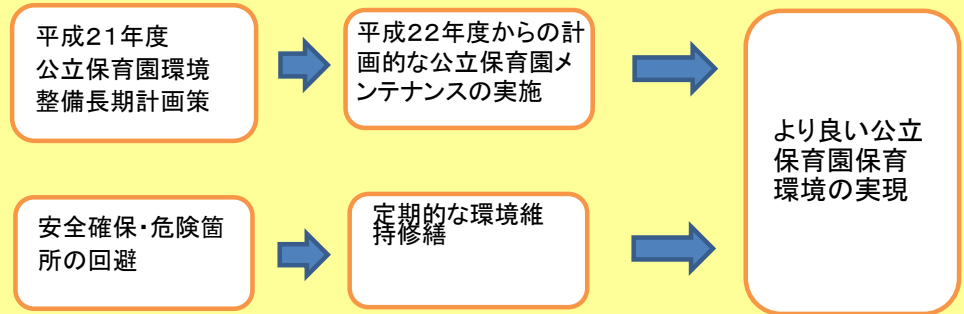
施工内容を加味し早期発注に努める事で、より早く良好な保育環境を整備する事に繋がることから、的確な発注時期を見定めた上で、順次施工していく。
「公立保育園環境整備長期計画に基づくメンテナンスを進めるとともに、危険性が高いと判断される特別な事情の変化があった場合、順次計画の見直しを行い、安心・安全の確保を最優先とした計画実施を行う。

担当部署 部名 教育部 課名 こども課 担当係長 牛崎 充人 内線 9-30-342

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業手法の詳細】



【平成26年度事業費の内訳】

●事業内容

○環境維持事業（14,481千円）

①修繕計画の必要性により実施

- ・太田保育園 床改修工事
- ・湯本保育園 駐車場舗装工事
- ・宮野目保育園 フェンス設置工事
- ・日居城野保育園 トイレ改修工事

②安全確保の必要性により実施

- ・遊具点検結果C判定遊具修繕（3年間で順次修繕）
- ・C判定遊具対応新設置業務委託
- ・自動火災報知設備設置業務委託